

## 平成27年度森林作業道作設コンクールの開催について ～北上川中流流域森林・林業活性化センター～

### 1 はじめに

北上川中流流域森林・林業活性化センター(会長 伊藤 達朗 一関地方森林組合代表理事組合長)では、昨年度に引き続き、森林作業道作設コンクールを開催しました。

### 2 コンクールの概要

コンクールの目的は、優れた技術を用いて作設した技術者を表彰することで、優良な事例を紹介し、地域の作設技術の底上げを図ることとしたものです。

コンクールの募集は、県南広域振興局管内の林業事業体の推薦とし、今年度は5事業体(7路線)の技術者の推薦がありました。

### 3 コンクールの審査・表彰

審査は10月下旬に森林総合研究所東北支所職員など3名の審査委員による審査の結果、2事業体、3名の技術者(下表)が入賞しました。

残念ながら、最高位にあたる優秀賞は昨年に引き続き、該当なしとなりました。



【表彰式の様子】

#### 【入賞者一覧】

表彰種類	被表彰者		推薦事業体
	所属	氏名	
奨励賞	北上市森林組合 (奥州市)	菅原 賢和 千田 誠	北上市森林組合
奨励賞	及川造林 (遠野市)	琴畑 光智	遠野地方森林組合

### 4 審査結果

審査は、①目的の明確性、②線形の効率性、③施工性、④耐久性、⑤経済性、⑥独自性の観点から行いました。

審査員からは、波形勾配、切高の抑制、横断排水の徹底などの指摘があり、耐久性や経済性の評価で差が生まれました。

特に、施工が冬季に及んだものについては、盛土の締固めが十分でない場合があり、早期の施工時期が望まれます。



【波形勾配により雨水を分散】

### 5 森林作業道作設研修会の開催

平成27年11月12日に、コンクール表彰式と併せ、森林作業道作設研修会を開催しました。岩手県地域けん引型林業経営体の明和フォレストの安倍 和明 代表取締役が、「低コスト森林作業道の作設の考え方」と題して講演しました。

活性化センターでは、次年度も継続し、コンクールや研修会等を開催し、作設技術の向上に向けて、取り組んで参ります。



【安倍氏による講演】